

授業科目	こどもの生活とあそび				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21409J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP3-1 DP5-3			
担当教員	村上 里絵							
授業概要	<p>①幼児教育期のこどもの生活や遊びの特性を知り、そこでの子どもたちの”学び”を読み取る視点を理解できるようにする。</p> <p>②事例研究や演習を通じた学びを基に、幼児教育と小学校教育の接続について考える。</p> <p>③保幼小それぞれの接続カリキュラムを作成する基礎を培う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①幼児教育における”学び”と小学校教育での”学び”を理解する。</p> <p>②こどもの生活や遊びの中におけるこどもの”学び”を捉え、説明することができる。</p> <p>③幼児教育におけるこどもの学ぶ姿から保育計画作成へと展開することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	0	0	60	0	0	10	70	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)	0	0	20	0	0	10	30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>①こどもの生活する様子や遊びに大きな関心を持ち、そこで子どもがどのような学びをしているのかを考える力が備わっている。</p> <p>②子ども理解から保育計画を立て、適切な環境構成や援助を行う知識や技能が備わっている。</p> <p>③幼児教育における”学び”が小学校での”学び”に接続されていくことを理解し、なめらかな接続について事例を用いて説明することができる。</p>				<p>①こどもの生活や発達の特性を知り、生活や遊びの中でのこどもの”学び”を読み取ることが出来る。</p> <p>②子ども理解から指導計画を立て、実践後の子どもの学びについて振り返り、省察できる。そのPDCAサイクルについての知識や技能が身についている。</p> <p>③テキストなどの事例研究を通して、幼児教育の中のこどもの”学び”が小学校教育の”学び”につながっていることを理解する。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業概要・目標について、シラバスの説明、評価について	講義	テキストを読む(復習)	
2	保幼小接続を進めるために 要領・指針の改訂と保幼小接続・幼児教育の特殊性	講義		
3	幼児教育における教育課程を理解する 「連携」と「接続」の違い	講義		
4	「連携」から「接続」 交流活動中心の「連携」から教育課程でつなげる「接続」へ	講義		
5	幼児期における「学びの芽生え」とは 幼児教育の特質と「学びの芽生え」	講義		
6	幼児期における「学びの芽生え」とは 「学びの芽生え」は小学校の教科につながる	講義		
7	児童期における「自覚的な学び」とは 「自覚的な学び」とは何を意味しているのか	講義		
8	児童期における「自覚的な学び」とは 「協同性」や「人と関わる力」が発達する姿	講義		
9	アプローチカリキュラム&スタートカリキュラムを作る	講義		
10	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを作るポイント	講義		
11	保幼小でいっしょに作る「接続カリキュラム」	講義		
12	こどもの遊びを体験しよう①	講義・演習		
13	こどもの遊びを体験しよう②	講義・演習		
14	こどもの遊びを体験しよう③	講義・演習		
15	まとめ レポート講評	講義		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	新聞や雑誌などの保育や教育にかかれた記事を読みましょう。 そして、社会の動きを知りましょう。			
テキスト	木下光二著「遊びと学びをつなぐ 保幼小接続カリキュラム」 チャイルド本社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	木下光二著「幼小連携」チャイルド社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	まず、自身の子どもの頃の幼稚園や保育園での遊びを思い出してみましょう。そしてその中で、どのような心の動きがあったか、どんなことに気付いたのか等を思い出しながら、「学びの芽生え」について感覚的に捉えていきましょう。また、実習やボランティアで接する子どもたちについてもよく観察し、「学びの芽生え」の姿を確認しましょう。			
達成度評価に関するコメント	最後にレポートを提出して頂きます。そのレポートに、幼児期の「学びの芽生え」をどれくらい興味関心を持って理解したのか、また「学びの芽生え」を小学校教育に繋げていく教師の関わりについてどれくらい意欲をもって考えているかを評価したいと思います。その他：評価は、レポート(80%)、授業貢献度(20%)で行います。			

